

校訓 「くじけるな のびよ身と心 大望をもて」



あかぎ

赤木名の子らよ、大木になれ・七本のあかぎ

6月号 平成27年6月22日(月)発行

《 いのち チャレンジ(挑戦) 感動 感謝 》

梅雨空を吹っ飛ばせ！元気いっぱいハッキナツ子

校長 平野 浩

10日(水)に音楽集会を行いました。まず、全校児童で今月の歌「手のひらを太陽に」を歌いました。本校は、「歌声の響く学校」を目指しています。朝の会で各クラスの歌声が毎日聞こえてきます。子どもたちの歌声を聴くと、すがすがしい気持ちになり、また元気をもらえます。その一人一人の歌声が集まって、全校児童106名の歌声はまさに圧巻です。体育館いっぱいに広がった歌声に感動しました。

その後、4～6年生が「朝花はやり節」を歌ってくれました。ふるさと奄美の島唄を大事に歌い継いでいきたいという思いで、毎年行事等で披露してきました。半年ぶりの歌声でしたが、4～6年生49名はきちんと歌詞を覚えて上手に歌うことができました。本校に今年赴任した先生方は、子どもたちの歌声に感動した様子でした。

そこで今年度も、全校児童による「朝花はやり節」を体育館落成式や学習発表会等で披露できたらと考えています。保護者の方々だけでなく地域の方々にも聴いていただきたいと思ひます。ぜひ、お楽しみに。

さて、赤木名小学校の子どもたちのいい所を、地域の方々がおほめてくださいます。「あいさつをよくしてくれる。」「自転車に乗る時は、ヘルメットをきちんとかぶっている。」「信号機で止まった時、横断歩道を渡り終わった子どもが、頭を下げて礼をしてくれた。」等。聞いている私も本当にうれしくなります。



朝の始業時前には、ボランティアとして花の水かけや校庭・校舎の清掃をがんばっています。また、先日の放課後、教員で植木の剪定をしていたところ、遊びに来ていた子どもたちが、剪定した枝葉の後片付けの手伝いを一生懸命してくれました。子どもたちにやさしい心やボランティアの心が育ってきているなとうれしく思う事でした。

梅雨もそろそろ明けそうですが、子どもたちも元気いっぱいがんばっています。保護者の皆様、地域の皆様の御支援・御協力を今後もよろしくおほいいたします。

子育ては、思うようにはいかないもの。親は、多かれ少なかれ悩みを抱えている。

わが子の、次のような変化や様子に悩んだり自信を失ったりしていませんか？

- 親の言うことを聞かないで、反発することが多い。
- 生意気なことばかり言う。
- 勉強をしないでゲームやテレビばかり見ている。
- 勉強についていけないようだ。
- 何事にも意欲がなく、生活が怠惰である。
- 級友とぶつかることが多いようで心配だ。
- 学校と家とでは態度が違うようだ。
- 学校に行きたがらないときがある。
- 等

私も2人の子どもを育てました。日々色々なことが起き、悩みながら工夫したことを思い出します。これでよかったのかと反省することも多くありましたが、親が一生懸命関わってくれていると子どもに感じさせることが大切なような気がします。そこで、こう対応すればすべてうまくいくというわけではありませんが、少しでもヒントになればと思うものを紹介します。

- 1 悩みがあったら、信頼できる専門家や学校等に相談する。(自分をさらけ出してしまったほうがうまくいくことが多い。家庭教育学級での学習や情報交換も参考に。)
- 2 子どもの言い分はよく聞き、わかってあげる。(しかし、子どもの言い分を全て鵜呑みにしない。)
- 3 世間の偏見や誤解、自分の思い込みに左右されないことが大切である。
- 4 自分の経験や周りの助言は大切だが、よく吟味して対応する。
- 5 きちんと育てようと思ひすぎない。(ユーモアや心の余裕が大切である。)
- 6 適度に甘えさせてあげることも大切である。(愛情不足の子が多い。)

子育てに関しては親の誰もがアマチュアですから、うまくいかなくて当然だと考えることが大切です。他の家はうまくいっているように見えますが、ほとんどの親が同じように悩んでいるのが実情です。

子育ての愚痴や悩みは、はき出してしまふのが結局は近道だと思います。担任や校長・教頭、スクールカウンセラー等、相談しやすいと思う人に相談してみませんか。7月は教育相談を計画しています。学校と家庭で協力して子どもを育てていきましょう。

“子どものために何が大切か、何をしたらいいか。親子のふれあいを大切に！”



※ 地区内で子どもの事故が発生しています。交通事故・水難事故等に注意しましょう！！